

北海道恵庭市黄金地域交流センター計画

The Project of Kogane Wooden Community Center in Eniwa City, Hokkaido

- 正会員 ○石黒 卓*1 正会員 瀬戸口 剛*2
 正会員 小倉 寛征*3 正会員 生沼 貴史*4
 正会員 千葉 拓也*5 正会員 永谷 早都美*6
 正会員 増田 祥子*7 正会員 渡部 典大*8

- ISHIGURO Suguru*1 SETOYUCHI Tsuyoshi*2
 OGURA Hiroyuki*3 OINUMA Takayuki*4
 CHIBA Takuya*5 NAGAYA Satomi*6
 MASUDA Shouko*7 WATANABE Norihiro*8

- *1 (株)アルセッド建築研究所
 *2 北海道大学大学院工学研究院 教授
 *3 エスエーデザインオフィス
 *4 (株)ドーコン
 *5 (株)竹中工務店
 *6 (株)KITABA
 *7 札幌市
 *8 古市徹雄都市建築研究所

- *1 Architectural Laboratory ALSIED ,LTD
 *2 Prof. Faculty of Eng. Graduate School of Hokkaido Univ.
 *3 Sa deign office
 *4 DOCON Co.,LTD
 *5 TAKENAKA CORPORATION
 *6 KITABA GRAND PLANNING ,LTD
 *7 Sapporo City
 *8 FURUICHI & ASSOCIATES

1. 計画概要

人口が増加する新興住宅地における複合機能型交流センターの計画。地域の情報交換や文化・芸術を通じた交流などのコミュニティの拠点機能、あるいは高齢者の憩い・集い・学習等の生涯学習の機能、青少年の遊び・学習の機能といった異なる機能を集約しながら複合施設とするコミュニティ・センターの計画である。敷地は恵庭市黄金地区、高齢者に比べ子育て世代が多く、史跡カリンバ遺跡を含め樹林地に隣接した緑豊かな周辺環境の中で、地域のコミュニティを支える拠点施設が求められた。

2. 新しいコミュニティセンターの計画理念

現代は人と人とのつながりが希薄になりつつある。個の生活は充実してきている半面、孤独感が拡がりつつあり、個と個のつながりはますます求められている。従来のコミュニティセンターは主にサークル活動等、メンバーの特定できるグループ活動への支援を目的として計画されていた。しかし、そうした計画は幅の広い世帯の偶発的・衝動的な利用を生まず、年を経る毎に形骸化することが多い。今後はさらに、地域の人々が気軽に立ち寄り、出会いの偶発性、世代間の交流を促す、『ゆるいコミュニティ』の形成が必要である。

以上より本計画では、以下の9点を基本方針とした。

- ①地域活動の支援 ②生涯学習の支援 ③青少年の健全な育成の支援
- ④市民の様々な出会いの創造 ⑤地域の人々がいつでも気軽に立ち寄れる施設
- ⑥地域の人々がゆっくりとくつろげる家庭的な施設 ⑦周辺の豊かな自然環境との親和性
- ⑧カリンバ遺跡の学習 ⑨周辺環境との調和と木のぬくもりを活かす

3. 必要機能と諸室の複合利用の検討

地域特性や住民アンケートの結果を踏まえ、協議会において必要となる施設機能を共有した。領域が互いに融合しあう空間構成を意図とした計画を行った。

- A. 「老人憩の家」機能 B. 「児童館」「学童クラブ」「子育て支援」の機能拡充 C. 「地区町内会館」「市民活動」の機能 D. 「図書」機能・展示機能・カリンバの活用 E. 休憩・喫茶機能 F. イベント機能 G. 世代間交流・多目的機能

施設に求められる上記の機能を分類・整理し、同市の既存施設の利用状況を基に、活動内容が類似するものや利用時間帯の工夫等で複合利用可能なものの共有化、また従来施設の機能・諸室内、利用度の低いものの効率化を検討、さらに一機能一諸室を前提としない柔軟な利用で空間の有効活用することを検討した。(図1)

結果として、一定時間の限定利用や特定活動による限定利用を前提としない、柔軟な利用を目的とした以下の15諸室の設置が合意された。

- [エントランスホール (適宜)] [ホール (200㎡未満)] [プレイルーム (100㎡程度)] [子供図書コーナー (20㎡程度)] [大人図書コーナー (50㎡程度)] [学童クラブ室 (90㎡程度)] [静かな会議室 (100㎡程度)] [音の出る会議室 (60㎡程度)] [和室 (25㎡程度)] [町内会室 (20㎡程度)] [調理室 (20㎡程度)] [喫茶給湯コーナー (適宜)] [事務室・機械室・倉庫 (適宜)] [トイレ・授乳室 (適宜)]

また、木造建築物の防火区画を求められない1000㎡以内を原則として諸室の配置を検討した。

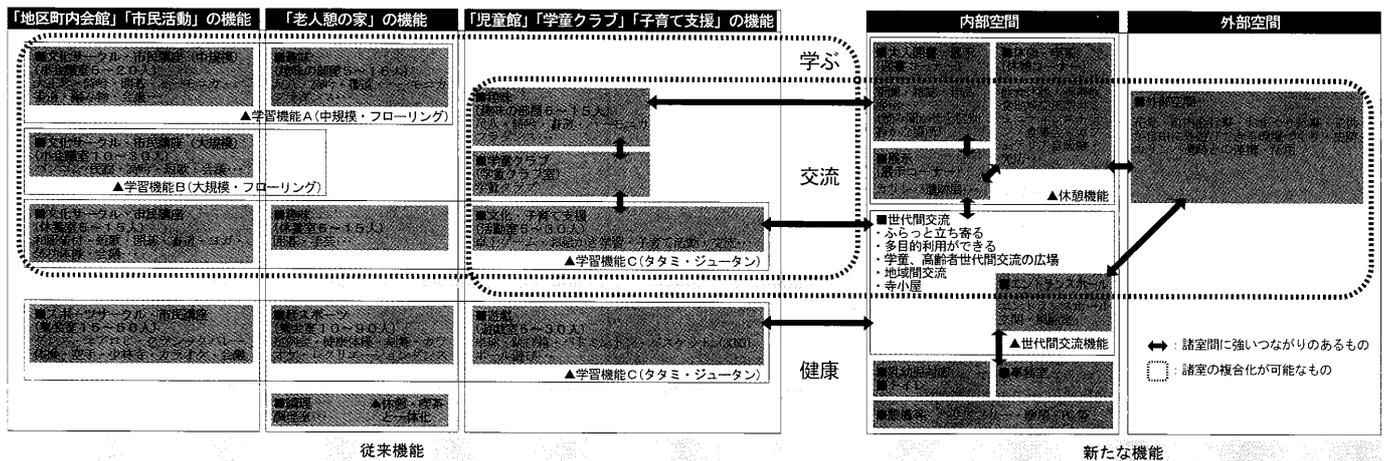


図1 施設機能と諸室の複合化の検討

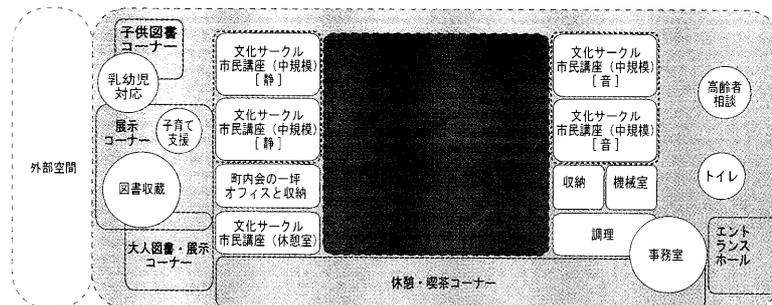


図2 ゾーニング

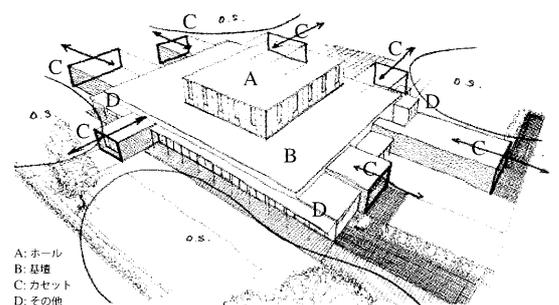


図3 空間構成

所在地：北海道恵庭市黄金町南5丁目11-1外
 用途地域：第1種中高層住居専用地域
 主な用途：地域交流センター
 敷地面積：10825.15㎡
 建築面積：1215.36㎡
 延床面積：1065.86㎡
 キーワード：木造公共建築、コミュニティセンター、ゆるいコミュニティ、住民WS

Location: 11-1, Minami-5-choume, Kogane-chou, Eniwa-shi, Hokkaido
 Use District: Region only for the first kind of convex layer dwelling
 Main Use: Regional community center
 Site Area: 10825.15m²
 Building Floor Area: 1215.36m²
 Total Floor Area: 1065.86m²
 Keywords: Wooden Public Architecture, Community Center, Flexible Community, Residents' WS

4. ゾーニングと空間構成

さらに、偶発的・衝動的な利用を促す為、ゾーニングにおいても個別の領域が互いに融合しあう空間構成を意図とした計画を行った。5つの考え方を下記に示す。

[1] ホールを中央に配置し、ホールでの活動の公開性確保、移動動線としての利用を想定した。

方針④より回遊性の高い動線によって日常的な出会いの偶発性を生むことを意図している。また方針⑥より大きなヴォリューム中央に配置し、敷地周辺に対するスケールへの配慮を意図している。

[2] 南側に喫茶コーナーの配置し、移動動線としてのエントランスホールに滞留性を持たせる。

方針④⑤⑥より、冬場の利用や待ち時間等の目的のない利用にも対応可能とすることを意図している。

[3] 喫茶コーナー近くに図書コーナーを配置し、本を読みながらお茶を飲むようにする。

方針②④より喫茶と同時に大人・子供が利用できる読書スペースを設けることで世代間の交流が生まれることを意図している。

[4] 音の出る活動用の部屋と静かな活動用の部屋を分離、部屋の規模に可変性を持たせ利用者数変化に対応する。

方針①④設備機能の違いによって、多くの諸室を設えるのではなく、音の有無という最低限の分離と規模の可変性によって様々な活動を許容することを意図している。

[5] 地域の人々が気軽に立ち寄ることが出来る地域コミュニティの拠点施設とする。

方針⑤⑦より屋外との親和性の高い、また各所室と全開口で繋がる回廊空間によって、選択性のある施設へのアクセスと回廊空間の柔軟な利用を促すことを意図している。

さらに、以上より導いたゾーニング（図2）をホール[A]、基壇[B]、カセット[C]、その他[D]という建築構成によって形態化した。（図3）

ホールを中心としてエントランスホールやプレイスペース等が囲む回廊空間を基壇とし、回廊と関係を持ちながら屋外に対して開放性の高い諸室をカセット、さらに主にカセット間に出来る屋外親和性の高い空間をその他として共有化した上で設計を行った。また、実施設計においても、カセットの小口面・ホールの間仕切り・天井梁の意匠・サッシュの割付等、建築構成を継承したデザインをベースに設計を行った。

5. 統括

恵庭市黄金地区という新興住宅地においては、未だコミュニティ自体が弱く、施設が地域拠点となると同時に、現代的なコミュニティの特質を支える事が必要となった。従来のような既成のコミュニティによる利用のみではなく、未形成のコミュニティや一個人の衝動的な利用など、不特定の利用者の意思に応えるための計画・設計が求められた。

当施設では、従来のコミュニティセンターとは異なる、時間・利用者を特定化しないコミュニティセンターのモデルとして、住民意思を発端とする条件設定のみでない、現代的なコミュニティの理念から条件設定から設計が行われている。また、カセットが陥入する回廊型のゾーニングと建築構成をとり、カセットと回廊・回廊と外部空間との間に選択性と偶発性を誘導することで出来る空間のフレキシビリティによって「ゆるいコミュニティ」を形成されることが計画されている。

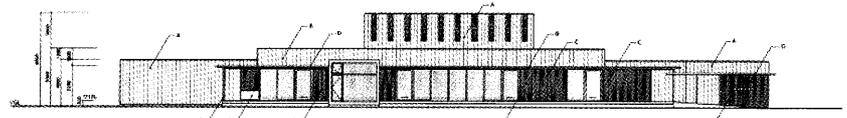


図4 南側立面図

SOUTH FACADE ELEVATION

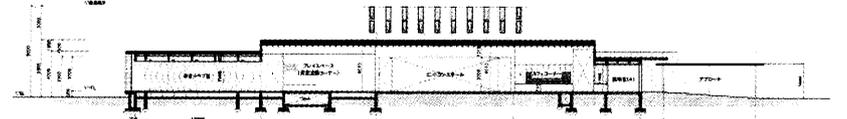


図5 断面 (A-A')

A-A' CROSS SECTION

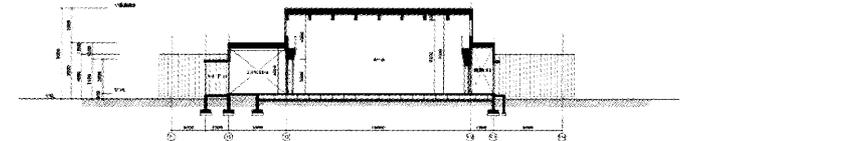


図6 断面図 (B-B')

B-B' CROSS SECTION

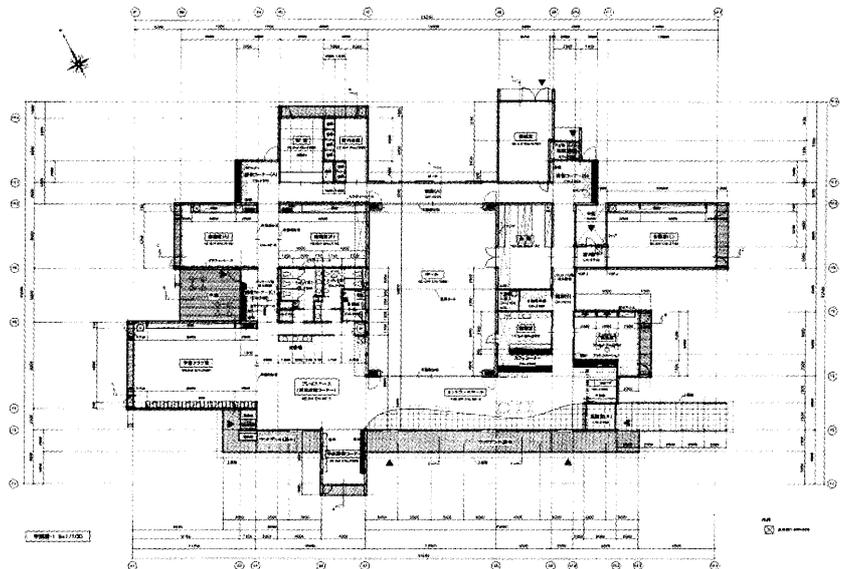


図7 平面図

GROUND FLOOR PLAN

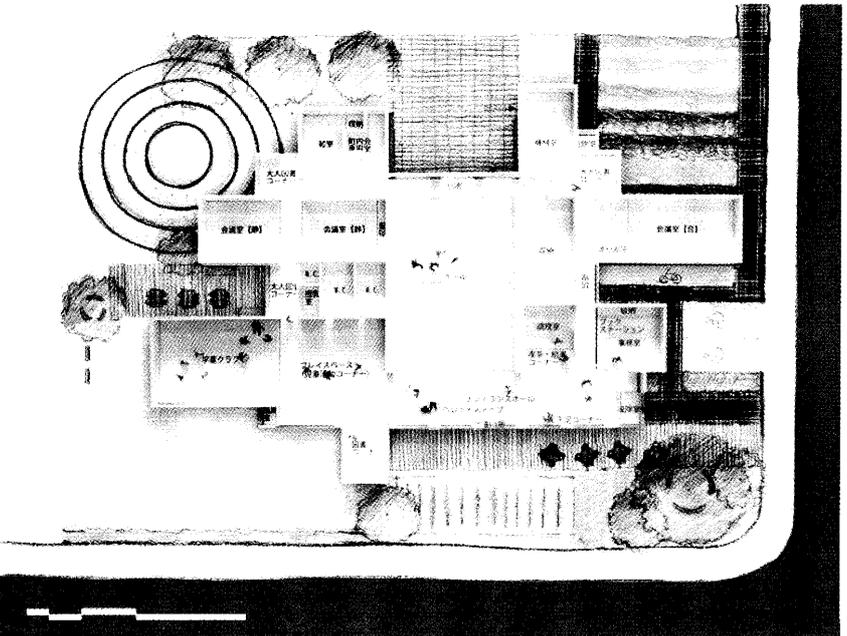


図8 模型写真

MODEL PHOTOGRAPH